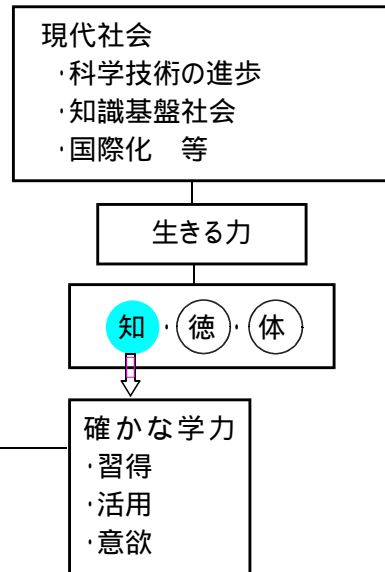


学力を考える

Q 子どもたちが身に付ける「学力」とはどのようなものですか。

A 身に付ける「学力」の重要な要素は、
 基礎的・基本的な知識・技能(習得)
 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な
 思考力・判断力・表現力等(活用)
 学習意欲(意欲) ———— です。



知識基盤社会：知識は日進月歩であり、競争と技術革新が絶え間なく生まれている。それに対応して幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断が必要になる。

Q 子どもたちの「学力」の現状はどのようなものですか。

A 各種調査の結果から、基礎的・基本的な知識・技能の習得については、一定の成果が認められますが、思考力・判断力・表現力等を問う読解力や記述式の問題に課題があります。また、学習意欲に課題があります。

活用

知識・技能を実生活の場面に活用する力に課題があります。



読解力や記述式の問題に課題があります。

生徒の学習到達度調査(PISA)での参加国中の順位

	H12(32)	H15(41)	H18(57)
科学的活用能力	2	2	6
数学的活用能力	1	6	10
読解力	8	14	15

調査は知識や技能を実生活でどの程度活用できるかを評価(記述式問題が中心)
 調査対象：高校1年生 ()はその年の調査の参加国数

意欲

学習意欲は、国際的に低い水準です。

B問題(読解力・記述式)の無答率が高いことに課題があります。

